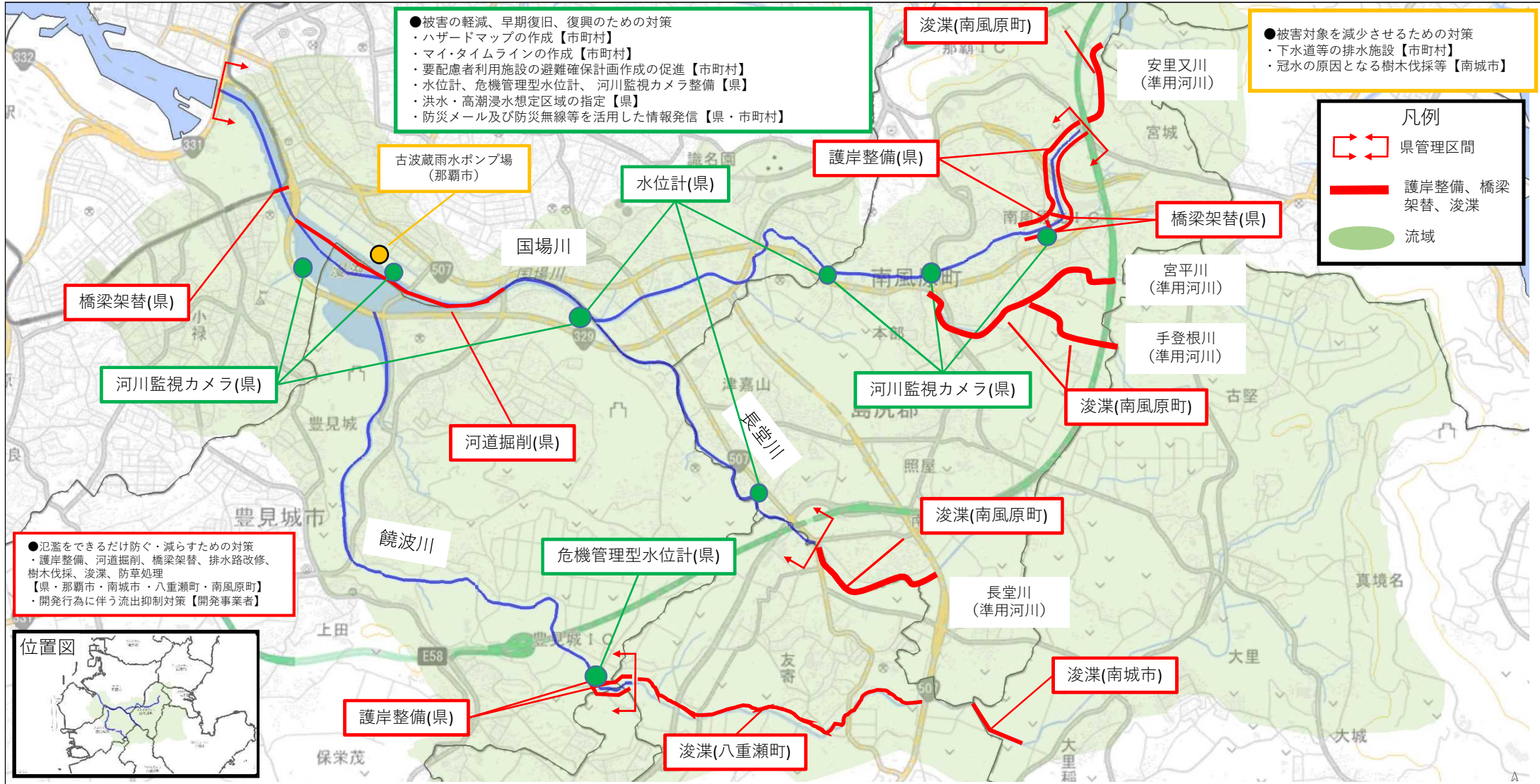


○二級河川国場川の未整備区間においては、河川断面が狭小なため、浸水被害が発生しており、平成11年9月の台風18号においては、浸水戸数163戸、道路冠水などの被害が報告されている。このことから、未整備区間となる平原橋から上流に向けて河川改修を実施し、整備区間の計画洪水規模の出水に対する対策や避難のためのソフト対策に取り組み、浸水被害の軽減を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

○国場川では、上下流の流域全体を俯瞰し、県、市町、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。

【短期・中期】 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策は、護岸整備、河道掘削及び橋梁架替等の河川改修を集中的に実施。被害対象を減少させるための対策は、下水道等の排水施設整備による浸水被害軽減を図る。被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では、ハザードマップ・マイタイムラインの作成等、要配慮者利用施設の避難確保計画の策定や避難訓練を促進するほか、危機管理型水位計等の整備による防災体制の強化を図る。

【中長期】 河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施。被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では毎年フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期（概ね5年間）	中期（概ね10～15年間）	中長期（概ね20～30年間）
● 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	・護岸整備、河道掘削、橋梁架替、排水路改修、樹木伐採、浚渫、防草処理	県、那覇市、南城市、与那原町、南風原町、八重瀬町			
	・開発行為に伴う流出抑制対策	開発事業者			
● 被害対象を減少させるための対策	・下水道等の排水施設整備	那覇市、豊見城市、与那原町、南風原町			
	・冠水の原因となる樹木伐採等	南城市			
● 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	・危機管理型水位計の整備 ・水位計、河川監視カメラの整備 ・洪水・高潮浸水想定区域の指定	県			
	・ハザードマップの作成 ・マイ・タイムラインの作成等 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進	那覇市、豊見城市、南城市、西原町、与那原町、南風原町、八重瀬町			
	・防災メール及び防災行政無線等を活用した情報発信の強化	県、那覇市、豊見城市、南城市、西原町、与那原町、南風原町、八重瀬町			

国場川水系  
流域治水プロジェクト

# 浸水被害軽減・逃げ遅れゼロ

【凡例】

- 破線：事業中、取組中
- 実線：維持管理、フォローアップ等